



印西市立印西中学校

自立貢献

学校だより

令和8年2月26日発行

No.15 発行者 坂野 峰子



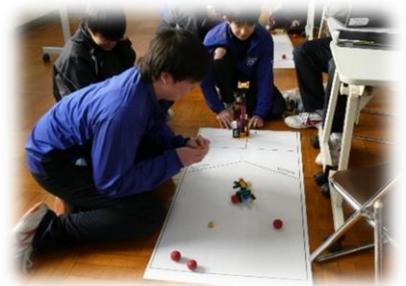
いじめ・体罰相談窓口：宇井・木島・川本・山本達・大川・新村・和田・教頭・校長
セクハラ相談窓口：新村・綿貫・高木・木島・宇井・和田・教頭・校長

🌟 輝きを放つ人間力 🌟

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが2月6日（金）に開幕し、2月22日（日）に閉幕しました。この大会で放たれた「出場選手の輝き」やその選手の背景にある「生きざま」は、私たちに多くのメッセージを伝えてくれました。

今回のオリンピックを最後に引退すると決めていたフィギュアスケートの坂本花織選手、何大会にもわたり出場したノルディック複合の渡部暁斗選手、スピードスケートの高木美帆選手、怪我をしながらも今できる最高のパフォーマンスをすると臨んだスノーボード・ハーフパイプの平野歩夢選手、たくさんの初出場となる選手など、若き才能溢れる選手とベテラン選手の不屈の精神が多くの人を魅了し、感動を与えてくれました。オリンピックという舞台に立ち、最高のパフォーマンスをするためには、気が遠くなるような4年もの間、技を磨くことはもちろん、国内外の大会で成績を残すこと、年齢や体力、怪我や苦悩を乗り越えて、世界最高峰の舞台に立っています。果敢に挑む姿や今この瞬間に全てを懸ける姿、そして競技が終わった後のインタビューでは、例え、メダルという結果はなかったとしても、競技を終えた姿に「人間力」を魅せてくれました。それは、オリンピックという舞台に立つまでに揺るぎない努力を積み重ねてきた過程があるからです。私自身が歩んできた人生やおそらく多くの大人たちが歩んできた人生も、努力したからといって必ずしも報われることばかりではなかったはずです。むしろ、思うようにいかなかったり、失敗をしたりしたことを次の希望や成功に向けて人生を歩んでいます。

無限の可能性を秘めている生徒たちには多くの経験を通し、上手くいったことや上手くいかなかったことのどちらも経験し、その時にしか得られないものを身につけ、「人間力」のある生徒たちに成長して欲しいと思います。今は、予餞会、卒業式に向けて、カウントダウンをしながら、練習を積み重ねています。輝く姿を期待しています。



人権標語決定！

12月に全校道徳で人権標語を考えました。多くの標語の中から、以下の3作に決定しました。3名の皆さん、素晴らしい作品をありがとうございました。また、選ばれた3つの人権標語と自分のことばで考えた標語を大切にしながら、人権意識を持って生活して欲しいと思います。



- <最優秀賞> 「好きが違う それがあなたの『らしさ』でしょ」 3年B組 I.C さん
- <優秀賞> 「気づけない？ あなたはきっと 気づいてる」 3年B組 O.Tさん
- <優秀賞> 「違いは力。個性は宝。」 2年A組 K.Nさん

